



私たちの明日は  
またひとつ、変わる。

## ごあいさつ



皆様には、平素より当協会の業務運営につきまして、格別のご高配を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、当協会では国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」の趣旨に賛同し、令和3年12月に栃木県とSDGsの達成に向け「SDGs推進に関する連携協定」を締結いたしました。また、令和4年1月には「SDGs宣言」と栃木県が推進する「とちぎSDGs推進企業登録制度」への登録を行うことで、当協会のSDGsへの取組を内外に示すとともに、信用保証をはじめ

とした事業活動を通じてSDGsの達成に取り組む県内中小企業の後押しを行ってまいりました。

このたび、「SDGs宣言」から1年が経過したことを機に、当協会のSDGsへの取組を広く知っていただくとともに、県内中小企業におけるSDGsへの取組促進の一助となるべく「TOCHIGI GUARANTEE SDGs REPORT 2022」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

ご存じのとおり、日本では全企業の約99%を中小企業が占め地域を支えています。持続可能な社会の実現を目指すSDGs達成のためには、地域における社会・経済・文化の担い手たる中小企業の取組促進が不可欠となります。

当協会としましては、地域に根差した公的機関として、金融機関をはじめとした関係機関と連携しながら、中小企業へのSDGsの普及・啓発に取り組み、地域の持続的な発展に貢献していく所存でございますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

栃木県信用保証協会

会長 茂呂和巳

## みんなで取り組もう!SDGs

### SDGsとは?

SDGsは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中核をなす国際社会共通の目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 栃木県信用保証協会SDGs宣言

栃木県信用保証協会は、国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」の趣旨に賛同し、信用保証をはじめとした事業活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献すべく、令和4年1月に「栃木県信用保証協会SDGs」を宣言し、次のような活動を行っています。

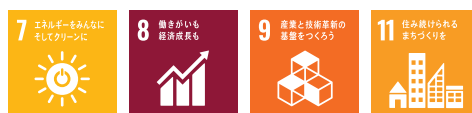
## 地域経済の活性化

金融支援及び経営支援を通じ、地域経済と雇用を支える中小企業者の成長と繁栄に貢献します。



## 地域社会の持続的発展

地域社会の課題解決に向け、社会貢献活動に取り組み、地域社会の持続的発展に貢献します。



## 地球環境・地域環境の保全

環境保全や環境負荷の低減に繋がる活動を積極的に推進し、地球環境・地域環境の保全に取り組みます。



## 働き方改革・女性活躍の推進

働き方改革や女性活躍に向けた取組を推進し、人材の能力を最大限発揮できる強い組織づくりを実現します。



## 「とちぎSDGs推進企業登録制度」とは？

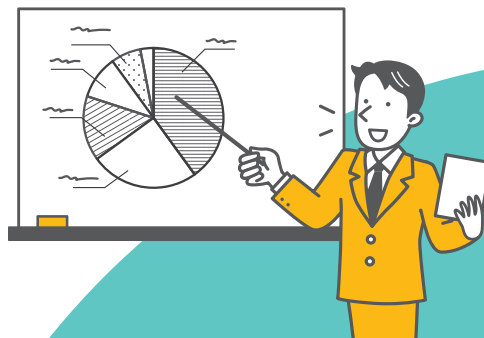
栃木県内の企業等におけるSDGs推進の機運を醸成するとともに、SDGs達成に向けた企業の主体的な取組を促進し、企業価値の向上及び競争力の強化を図ることを目的に栃木県が実施している登録制度です。栃木県信用保証協会も令和4年1月に登録しています。



とちぎSDGs推進企業 登録マーク

## ○信用保証を通じた円滑な資金供給

- ・年間13,214件、1,483億円の信用保証を実施
- ・「とちぎSDGs推進企業応援保証」をはじめとするSDGs関連制度により取組を後押し



## ○創業者を目指す方々への支援

- ・令和4年12月「創業アシストセミナー」を開催
- ・関係団体主催の創業塾へ講師として年間13回参加



## 地域経済の活性化



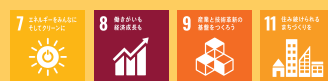
SD  
取組

## ○「国民体育大会」「全国障害者スポーツ大会」への協賛

- ・「第77回国民体育大会～いちご一会とちぎ国体～」および「第22回全国障害者スポーツ大会～いちご一会とちぎ大会」に協賛するとともに、ボランティアとしても参加



## 地域社会の持続的発展



## ○地元プロスポーツチームとの連携

- ・プロバスケットボールチーム「宇都宮ブレックス」とのスポンサー契約締結



## ○教育・文化活動への協賛

- ・「下野教育美術展」に協賛し、優秀団体への表彰の他、受賞作品を当協会広報誌「保証だより」の表紙に掲載





## ○森づくり事業「ギャランベリーの森」

- ・年2回、職員による除草活動を実施

## ○環境問題を意識したノベルティグッズ

- ・「海洋プラスチックボールペン」および「フェアトレードコットンエコバッグ」製作

## ○資源の有効活用

- ・「フードバンクうつのみや」への災害時用乾パン寄贈
- ・「NPO法人シェアハッピーエール」への事務用品入替に伴う寄贈



## 地球環境・ 地域環境の保全



## ○ペーパーレス会議の実施による 紙資源の節約

- ・年間749回のペーパーレス会議を実施し、約18万枚(A4サイズ)の紙資源を削減

## ○SDGs債への投資

- ・グリーンボンド、ソーシャルボンド等のSDGs債を購入



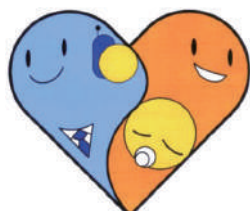
## ○女性が活躍できる 職場づくり

- ・「職場復帰プログラム」により育児休業後の職場復帰をサポート
- ・「とちぎ女性活躍応援団」に登録し、女性活躍を積極的に推進



## ○働き方改革への取組

- ・「栃木県いい仕事いい家庭つぎつぎとちぎ宣言」に登録し、従業員の「仕事と家庭の両立」をサポート



## 栃木県との連携

栃木県信用保証協会では令和3年12月24日に栃木県と「SDGsの推進に関する連携協定」を締結しました。当協定に基づき、「とちぎSDGs推進企業応援保証」の利用推進や栃木県が行う「とちぎSDGs推進企業登録制度」の登録促進に連携して取り組み、地域社会の持続的な発展に貢献しています。





# SDGsに関連した保証制度のご案内

栃木県信用保証協会では、中小企業者のSDGsへの取組を支援すべく、SDGsに関連した保証制度をご用意しております。ご検討の際は、金融機関又は栃木県信用保証協会までご相談ください。

## (1) とちぎSDGs推進企業応援保証

栃木県が実施する「とちぎSDGs推進企業登録制度」に登録した中小企業者に対して保証料率を割り引くことで、SDGsの達成に取り組む中小企業者の持続的成長・発展を支援することを目的として、令和4年1月に新たに創設した保証制度です。



ご利用いただける方



栃木県が実施する「とちぎSDGs推進企業登録制度」に登録し、その目標達成に向けた取組を進めており、今後も社会課題の解決に取り組もうとする方。

保証限度額

1億円(うち運転資金3,000万円)

保証期間

運転資金10年以内  
設備資金20年以内  
(据置期間36か月以内)

担保

必要に応じて

保証料率

0.405%～1.710%(基準保証料率から10%割引)

責任共有制度

対象

対象資金

事業資金

返済方法

分割返済

利率

金融機関所定利率

## (2) 寄贈型SDGs特定社債保証「とちぎ地域貢献応援債」

金融機関が取り扱う寄贈型私募債により栃木県内の団体等に寄贈を行う中小企業者に対して保証料率を割り引くことで、地域貢献を後押しする保証制度です。



ご利用いただける方



「中小企業特定社債保証」の適債基準を満たし、地域貢献のため金融機関が取り扱う寄贈型私募債により栃木県内の団体等に寄贈を行う方。

保証限度額

4億5,000万円  
(発行限度額 5億6,000万円)

保証期間

2年以上7年以内

担保

原則として保証金額  
2億円超の場合は必要

保証料率

社債総額に対し、0.382%～1.615%  
(基準保証料率から15%割引)

保証割合

発行額の80%  
(部分保証)

対象資金

事業資金

返済方法

満期一括償還、  
6か月毎の定時償還

利率

発行体所定利率

# SDGs関連 ノベルティの制作

中小企業者や関係機関の皆さまに向けて当協会のSDGsに資する取組を発信するとともに、手に取った方がSDGsについて考えるきっかけとなればという思いから、環境等を意識したノベルティグッズを製作しました。



## 海洋プラスチックとは？

陸や川に捨てられ、最終的に海へ流れ込んでしまったペットボトルや包装容器等のプラスチックごみです。毎年800～1200万トンのプラスチックが陸地から海へ放出されており、このままでは2050年までに魚よりもプラスチックの量が多くなると言われ、世界的な問題となっています。



## 海洋プラスチックボールペン



### 魚の量より多くなると予測される「海洋プラスチックごみ」を使用

ボディの一部に海洋プラスチックごみからリサイクルした再生樹脂を使用しています。SDGsの17の目標のうち、海なし県の栃木県では取り組むことが難しい目標14「海の豊かさを守ろう」について、ノベルティグッズを通じて貢献できるよう製作しました。



PILOT社が開発したリサイクル材使用の地球にやさしい環境配慮商品。

海岸に漂着した海洋ごみ。日本に漂着するごみの量は人工物が自然物を上回り、その多くがプラスチックです。



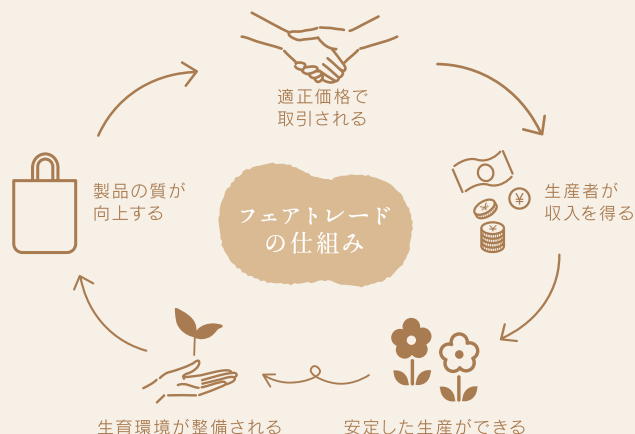
フェアトレード認証されたコットンを使用。

## フェアトレードコットンエコバッグ



### 国際フェアトレード基準を満たしたコットンを使用したエコバッグ

開発途上国の多くのコットン生産者は、生産コストすらまかなえない低価格、危険な農薬の使用による環境・健康へのダメージに苦しんでいます。フェアトレードコットンの普及により、生産環境の向上に寄与することができます。



国際フェアトレード認証ラベル  
フェアトレード認証製品であることを示すラベルです。このラベルは製品の原料が生産され、輸出入、加工、製造されるまでの間に、国際フェアトレードラベル機構が定めた基準が守られていることを示しています。





Special interview

人と地球に

笑顔を咲かせる

栃木県小山市／生花通信販売業

## 株式会社 花のギフト社

ECサイトでフラワーギフトの販売をメインに行う。  
母の日や敬老の日などの贈り物に選ばれ、  
年間15万人以上の方にお花と感動を届けています。



OUR ACTION FOR SDGs

#01

代表取締役社長

益子 博美 氏

社長自ら取り組む姿が印象的。  
一人ひとりがやりがいを感じられる工夫を。

「SDGsという言葉が出始める前から環境問題やジェンダーフリーなどについて興味がありました。社内でも10年前から社用車として電気自動車を導入していたり、節電やごみの削減などを常に呼び掛けています。」と益子社長。スタッフとのコミュニケーションも大切にしており、定例ミーティングやランチ会などを設けて積極的に交流の場を作るなど、**働きやすい環境づくり**にも取り組んでいます。中でも印象的なのは、多様な人材を活かしその能力を最大限発揮できる機会を提供するという**【ダイバーシティ経営】**の促進。特に母の日シーズンには地元の女性や高齢者・障がいのある方など、16歳～82歳までの約200名を自ら面接し、**一人ひとりの能力に合った**人員配置まで考えるそうです。「有難いことに約8割がリピーターのパートさん。毎年楽しみに来てくださる方がたくさんいらっしゃるってとても嬉しいです。」こうした取組は、人材不足解消や働き手のやりがい・モチベーション向上だけではなく、

**異なる背景や経験を持った人たちが集まる事により新しいアイデアが生まれる**などの効果も。「今後も続けていきたいですし、母の日以外でもお声がけできるようにもっと会社を大きくしていきたいなと思います。」



たくさんのスタッフさんがそれぞれにあった方法でいきいきと働ける環境です。



## その他のSDGsへの取り組み

### お花のカタログギフト「Accueil(アクイユ)」

商品を選び終えたら処分してしまう通常のカタログギフトとは違い、メモやポストカード、フォトスタンドとして再利用ができます。またギフト内容に変更があった場合にはカードごと

差し替えが可能。

企業と購入者どちらにもやさしい商品です。



### パッケージの工夫

お花のラッピングにはセロハンが使われることが多いですが、同社では過剰なラッピングを削減し、代わりにギフト用段ボールを作りました。お花と環境に配慮した取組です。



### 企業としてSDGsに取り組む意義は？

従業員が多ければ多いほど会社が大きければ大きいほど、影響力があり、地域全体でSDGsについて触れる事ができます。例えばパートさんへSDGsの意識付けができれば、きっとそのお子さんやご家族にも関心を持ってもらえる。そういう風に皆を巻き込んで取り組めるという点に価値を感じています。

### 社内でSDGsを周知させるために工夫したことは？

環境に関する本を課題図書として読んでもらったり、自分がセミナーなどで学んだ事を共有したり、節電などは現場での呼びかけを通して少しずつ意識改革を行いました。次第に「これって必要?」「もっとこうした方が無駄が少ないのでは?」など、考えて行動する姿が見られるようになり、業務の効率化にも繋がっていると思います。

**SDGsは決してカッコいいことではありません。難しく考えずに、まずはできることからやってみる。無駄を減らすためにはどうしたらいいか、あとで捨てるものを「じゃあどうする?」と考える。一人ひとりが自分のできることを考えて行動し、地球規模で取り組むようになったらいいなと思います。**



#### 株式会社 花のギフト社

〒329-0214 栃木県小山市乙女2丁目20番23号  
TEL : 0285-45-0023  
営業時間: 9:00-18:00



代表取締役社長  
益子 博美 氏

栃木県出身。日本フローリスト養成学校卒業後、アメリカやオーストラリア・アジアなどでフローリストとしての経験を積む。2002年銀座でフラワースクール兼ショップのオープンを経て、野上会長と出合い同社へ。2015年、同社の代表取締役社長に就任。





Special interview

「もったいない」で

世界をつなぐ

栃木県那須塩原市／パン製造

## 株式会社パン・アキモト

1947年創業の地域に愛されるベーカリー。  
地元栃木に本社を置き、東京・大阪に営業所があるほか、  
海外にも事務所や店舗を構えます。

### パンに秘められた力でSDGsに貢献。

「日持ちするパンを作ってよ!」95年の阪神・淡路大震災時、被災地の方の一言がきっかけとなり開発された「パンの缶詰」。柔らかくて美味しく長期保存が可能な一方で、その特性ゆえに食べる前に賞味期限切れになることも多く、食品ロスに繋がることもあったそうです。「災害を想定して作られた商品なので食べることがない方がいいパンではありますが、せっかく作ったからには食べてほしいという想いもありました。」そこで「**食品のリユース**」に目を付けた秋元社長は、賞味期限が近づいたパンの缶詰を集め、食糧難で困っている海外の子ども達に送る活動を始めます。「これが大きく動いたのがスマトラ島沖地震の時。対岸のスリランカにも大きな津波が襲い、現地の知り合いから「**残ったパンでもいいから送ってほしい**」と連絡がありました。そこで**新品ではなく中古品でも役に立つことができる**と確信し、もっとシステムチックな方法で取り組もうと。」すぐに運送会社やNGOと連携し、購入者を対象に賞味期限半年前になったら回収、責任をもって**義援先の国に届ける『救缶鳥プロジェクト』**が始まりました。「常にもったいないという言葉が根底にあります。」無駄にならない様にと工夫したことが国際貢献に繋がり、今も世界中にパンと笑顔を運んでいます。



OUR ACTION FOR SDGs

#02

代表取締役なんでも係

秋元 義彦 氏



豊富な栄養素たっぷりの  
備蓄食料



2019年に企業や自治体に向けてリリースした『みどりの救缶鳥+』は、栄養素が豊富なユーグレナを配合しており、従来の食品ロス削減や飢餓救済のほか、栄養補給サポートも可能な商品となっています。



## その他のSDGsへの取り組み

### きらむぎサッカーパーク

コロナ禍で様々な規制がかかり自由に練習ができなくなった子供たちのため、同社が所有していた敷地を整備して、天然芝のサッカー場を作りました。

多くの方のご協力で  
約3ヶ月間かけて完成!



### アフリカにくつ贈り隊

サイズアウトを理由に履けなくなってしまった日本の子どもたちの靴と裸足で遊ぶアフリカの子どもたちを見て着想を得たプロジェクト。パンの缶詰とともに現地に贈られ、安全と笑顔をもたらします。



### SDGsに取り組む上で大切なことは？

「SDGs=持続可能な開発目標」なので、一時的な取り組みになってはいけないと思っています。費用をかけて大々的に始める必要はなく、自分の周辺でできることを探し、継続していくことが大切だと思います。

### 原動力は？

喜んでもらえるパン屋でありたい・人の笑顔が見たいという気持ちが原動力になっています。そう思い取り組んできたことが結果としてSDGsに繋がり、誰かのためになる。そのために働くことができて嬉しく思います。



世界に目を向けると、中古のパンでも喜んでくれる人がいる。自社の取組がモデルとなり、他の会社が「こんなことなら自分たちも貢献できるかも」と気付いてくれるきっかけになればいいなと思います。地方の小さな会社ですが、これからも想いは世界にあります。

特殊な製造方法は、  
4カ国で特許の  
取得実績があります



代表取締役なんでも係  
秋元 義彦 氏

栃木県出身、法政大学経営学部卒業。都内のパン屋に入社後、実家である(有)秋元ベーカリーに入社する。1990年に代表取締役に就任し、2000年に(株)パン・アキモトに社名を変更。



### 株式会社パン・アキモト

〒329-3147 栃木県那須塩原市東小屋295-4  
TEL:0287-65-3351  
営業時間:9:00-18:00







栃木県信用保証協会  
イメージキャラクター  
「ギャランベリー」



栃木県信用保証協会

発 行 令和5年2月  
編 集 栃木県信用保証協会  
住 所 〒320-8618 宇都宮市中央3-1-4  
電 話 028-635-2121  
U R L <https://www.cgc-tochigi.or.jp/>



この印刷物は適切に育まれた森から生まれたFSC®認証紙を使っています。FSC®認証紙は、適切に管理された森林の木材を原料としており、バランスの取れた『植林→育成→伐採→植林』のサイクルを通じて森林保全を行っています。森林保全を支援することによって地球温暖化の原因であるCO<sub>2</sub>削減にも役立ちます。